

ぽむ・ぽむ通信

No. **62**

生協の組合員と日本ユニセフ協会を結ぶネットワーク通信「ぽむぽむ通信」は、生協組合員のボランティアグループで発行・編集をしています。生協のユニセフ活動に積極的にご活用ください。



©AP Photo/Nelson Salting



©UNICEF Philippines/2013/Jmaitem



©UNICEF/NYHQ2013-1010/Jeoffrey Maitem

～フィリピン台風緊急募金より～

目次

◇フィリピン台風緊急募金	1
～台風30号（ハイエン）で600万人以上の子どもが被災～	
◇シリア緊急募金	3
～絵で見る、子どもたちの心に負った傷～	
◇知っとこ。ユニセフ アドボカシー①	4
◇世界の子どもたちは今 シリア「遊びを失う子どもたち」	5
◇生協のユニセフ支援活動 ハンド・イン・ハンド募金の取り組みなど	6
＊秋田県生協連 ＊鳥取県生協連 ＊コープみらい（ちばエリア）	
◇トピックス	
＊ 5歳未満児死亡数が年間660万人、4.8秒にひとりの死亡に	8
＊ ハイチ地震復興支援募金の受付終了のお知らせ	8
＊ 第35回ユニセフハンド・イン・ハンド募金	9
＊ CO・OPコアノン・スマイルスクール・プロジェクトの取り組みについて	10

ぽむ・ぽむ通信 活用のすすめ

- ・ すべてのページをコピーしなくても、「知っとこ。ユニセフ」や「世界の子どもたちは今」を集めて、資料としてご活用いただけます。
- ・ ユニセフのつどいやユニセフ展、学習会の際に資料としてご活用いただけます。
- ・ 店舗の募金箱の近くに置いて、生協のユニセフ活動を紹介する際にご活用いただけます。
- ・ 生協の管理している文化センターなど、共用施設の雑誌コーナーなどにもご活用いただけます。
- ・ 写真のコンテンツも充実しているので、カラーコピーでのご使用をおすすめします。



フィリピン台風緊急募金

～台風 30 号（ハイエン）で 600 万人以上の子どもが被災～



©UNICEF/ NYHQ2013-10/JEOFFREY MAITEM

がれきが散乱しているタクロバン市内を歩く子どもたち

◆ 被災した子どもたちへの支援が開始

11 月 8 日フィリピンに上陸した台風 30 号（ハイエン）。この台風で被災した子どもは 600 万人を超えています（2013 年 12 月 11 日現在）。

こうした状況を受け、ユニセフは、フィリピン国内はもとより、本部や周辺国の事務所を総動員し、この大災害への対応を始めています。フィリピン国内では、通常の支援プログラムを一時停止。フィリピン国内の全てのリソース（人・物資・資金）を最大限に動員し、緊急支援活動にあたっています。

被害の大きかったタクロバン地区を中心とした被災地では、国内に備蓄された支援物資の輸送を急ピッチで進めています。



©UNICEF/NYHQ2013-0988/JEOFFREY MAITEM

タクロバン市内の避難所に身を寄せている子どもと母親

ユニセフ本部（ニューヨーク）は、緊急事態に対応するために常設する編成支援チームに所属する専門家を総動員。水と衛生、栄養、子どもの保護、そして物流の分野で、他の人道機関との調整活動にあたっています。

デンマーク・コペンハーゲンのユニセフ物資供給センターから空輸されている、10,000 世帯・総額 130 万米ドル分の支援物資約 60 トンが、フィリピン（マニラ）に到着しています。

◆ 貧困率が高い地域はさらなるリスクに

多くの保健所や産科クリニックも被災しました。被災した人たちが保健サービスを十分に受けられない状況が続けば、特に妊産婦や新生児に、死の脅威が迫ります。5歳未満の子ども 10 万人と妊婦や育児中の母親6万人が被災したと推定されています。

食事や母乳を通して必要な栄養をとることができない状況に、安全な飲み水と衛生的なトイレが使用できない状況が重なり、幼い子どもたちが栄養不良に陥る危険性が生じています。被災地の中には貧困率が高いエリアもあり、問題は極めて深刻です。

学校などの施設も壊滅的な被害を受けました。最も被害が大きかった東ビサヤス地方では、3,000 の学校と 2,400 のデイケア・センターが被災したとみられています。

台風により家屋や学校は跡形もなくなり、住民や家族の多くが避難することになったため、子どもたちが虐待や搾取の危険にさらされており、予断を許さない状況です。



©UNICEF/NYHQ2013-0991/Maitem

台風が上陸したタクロバン市内で
2 人の子どもを抱える男性

◆ 災害発生直後の主なユニセフの支援活動

- 浄水剤 1 万セットと衛生キット 3,000 個、水処理装置 2 基を被災地に輸送
- 水処理施設を稼働させるための発電機 20 基、水質調査セット 1,200 個と折り畳み式貯水袋
- トイレの代替設備設置、固液体物の安全な処理や水質管理についての技術指導
- 30 の緊急保健キットの輸送（保健キットには、基本的な医療用具と薬品が入っており、1 セットで 1,000 人を対象に基本的な保健サービスを 3 か月間続けることができます）
- 急性栄養不良の子どもを治療するための栄養治療センターを設置、ピーナッツペースト状の栄養補助食と微量栄養パウダーの調達と輸送
- 1,860 の防水シート、学校や安全なスペース設置に使われる 72 のテントを輸送

◆ フィリピン台風緊急募金 ◆

日本ユニセフ協会では、フィリピンで台風の被害を受けた子どもに対してユニセフが行う緊急支援のためのフィリピン台風緊急募金を受け付けています。
あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

郵便局（ゆうちょ銀行）募金口座
振替口座：00190-5-31000
口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会

*通信欄に「フィリピン台風」と明記願います。
*窓口からのお振込の場合、送金手数料は免除されます。

（参考資料：日本ユニセフ協会 HP フィリピン台風緊急募金第 2 報、第 4 報を編集）



シリア緊急募金 ～絵で見る、子どもたちの心に負った傷～

本号では、紛争下にあるシリアの子どもたちの絵をご紹介します。彼らが見聞きしている現実が絵に表れています。



©UNICEF IRAQ&SYRIA/2013

“シリアから国境をまたいで逃げる人々を描きました。戦車、飛行機、死傷者。シリアという文字からは血が流れています。”(バッサム 11 歳)



©UNICEF IRAQ&SYRIA/2013

“爆撃する飛行機と戦車を描きました。下に横たわるのは人々の死体です。”(アブドゥ 13 歳)

ユニセフでは、心に傷を負った難民、避難民の子どもたちの心のケアに努めています。そのひとつが、このようにして絵を描くこと。うまく言葉で表せない心の中のことを絵に表してもらうのです。心の平安を取り戻すと、絵の内容が平和なものに変わっていきます。このほかユニセフでは、サマーキャンプや補習授業を開き、安全な環境の下で子どもらしく遊び、学べるよう配慮しています。



©UNICEF/2013/Nabil Ismail

サマーキャンプでもらった本を見せる子どもたち



©UNICEF/2013/Nabil Ismail

勉強する子どもたち

◆ シリア緊急募金 ◆

日本ユニセフ協会では、シリアとその周辺国に避難を余儀なくされている子どもに対してユニセフが行う緊急支援のためのシリア緊急募金を受け付けています。
あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

郵便局(ゆうちょ銀行)募金口座
振替口座:00190-5-31000
口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会

*通信欄に「シリア」と明記願います。
*窓口からのお振込の場合、送金手数料は免除されます。

知りたい?

知っÜこ。ユニセフ

アドボカシー ①

日本ユニセフ協会のおもな活動は3つです。

広報活動

募金活動

アドボカシー活動

アドボカシーとは少々耳慣れない言葉ですが、

Advocacy

英和辞典によると、その意味は、
「弁護・支持・擁護・唱導（先に立って唱える）」

英英辞典によると、
Public support for a group of people
process or way at doing things

日本では近年「政策提言」「権利擁護」などの意味で用いられることが多いようです。

ユニセフにおける

アドボカシー活動とは・・・

「特定の政策を実現するために社会的な働きかけをすること」です。

子どもと女性の代弁者であるユニセフは、政策分析を重要な活動の一つとして、政府・政策決定者・メディア・市民・国際機関と協力して実施しています。

ユニセフの現行の中期事業計画（2006-2013年）の中でも、5つの柱の一つ、
「政策分析と政策提言、及びパートナーシップ」
として位置づけられています。

詳しくは：http://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_act05.html

中期事業計画（2006-2013年）活動分野

十分なケアを乳幼児に

すべての子どもに教育を

エイズと闘う

子どもの保護

子どもにふさわしい世界を目指して 政策提言
（アドボカシー）とパートナーシップ

日本ユニセフ協会では、
1990年代初頭の日本政府による「子どもの権利条約」批准を
求めるキャンペーンを皮切りに、
いくつかの課題に、取り組んでいます。

次回はそのキャンペーンの、
内容をお伝えします。



世界の子どもたちは今

シリア



—遊びを失う子どもたち—



これからもっと寒さもきびしくなるけど、
シリアの子どもたちはどうしているのかな？
避難は続くし、友だちと遊んだりできているのかな～？

シリア北部

ぼくの兄ちゃんは、
14才で、本物の
武装グループに
入ってるんだ！

今、はやっているのは
『テロごっこ』
だよ！



1

シリア北部

『泥んこ遊び』なんかじゃ
ないんだよ。防空壕を
掘っているんだ。



爆撃されたら
逃げ込む「穴」
なのさ。

2

トルコ国境付近

冬は雑草も
なくなるから、
どうしよう。

『ままごと遊び』
じゃないのよ。
雑草をかき集めて、
大事な食糧に
するの。



3

レバノン

ぼくは農場で
卵を集める仕事を
してるんだ。
家族が食べて
いくために
働かないと！



4

内戦前までは、
普通に学校へ行って、
みんなでサッカーをしたり
TVゲームやCDを聴いたり…
ぼくたちと同じように
遊んでいたのに……



友だちといっしょに
楽しく遊んだりすることは、
大人になるために大切なこと
なんだ。それが、この内戦で
むずかしくなってるよね。
少しでもシリアの子どもたちが
安心して遊ぶことができるよう
支援して行かなくちゃね！



生協のユニセフ支援活動 Partnership



秋田県生協連 ハンド・イン・ハンド募金を行いました

秋田県生協連は、9月14日に秋田駅東西連絡通路で、ユニセフハンド・イン・ハンド街頭募金を実施し、県内の生協から33人の組合員、役職員が参加しました。

ハンド・イン・ハンド街頭募金とは1979年より日本ユニセフ協会が行っている、文字通り手に手を取り合いボランティアとして参加できる国際協力活動です。秋田県生協連は2006年から取り組み、今年で8年目となります。

台風接近の影響もあり非常に蒸し暑い駅の構内でしたが、参加者は汗を拭いながらユニセフカラーであるブルーのスカーフを首に巻き「世界中の子ども達に笑顔と未来を」をスローガンに、大きな声で支援を呼びかけました。



参加者で集合写真！



駅の連絡通路で募金を呼びかけました！

近年は小学生の子どもたちから大学生、ベテランの組合員さんまで幅広い年代の方にご協力いただき、生協らしい活動を一層アピールできるようになりました。1時間半の短い時間でしたが、取り組み以来最高となる65,320円の募金を集めることができました。

これからも一人ひとりが手を取り合い、継続して取り組んでいきたい活動です。



鳥取県生協連 大山まきばまつりにユニセフブースを出展しました

9月29日に、大山乳業農業協同組合が主催する「大山まきばまつり」が開催され、約5,000人が来場しました。

今回は、ユニセフ協会設立準備会(事務局/生協県連)としてブースを出店し、ユニセフパネルや東日本大震災でのユニセフの取り組み写真の展示、ユニセフグッズの頒布等を行いました。



大山乳業ゆるキャラ「カウイー」も応援！

展示パネルを見学した方からは「被災地でのユニセフの活躍に感動しました」などの感想が寄せられました。

グッズ頒布では、一筆箋やシール付ポストカード等が家族連れの方々に好評で、当日だけで約 2 万円が集まりました。製品代金の約 50%がユニセフ活動資金として世界の子どものために役立てられます。



グッズ頒布するボランティアスタッフ

10月3日には、「鳥取県ユニセフ協会設立発起人会」が開催されました。県内有識者、学術関係者、報道関係代表で構成された県協会発起人会やユニセフボランティアを含む約 40 人が参加し、日本ユニセフ協会からも出席しました。12月12日には「鳥取県ユニセフ協会設立大会」が開催されます。また、11 から 12 月には県協会設立構成団体が主催するハンド・イン・ハンドを予定しています。



コープみらい (ちばエリア)

ユニセフをテーマにしたコープ会&ハンド・イン・ハンド募金を開催しました

コープみらい (ちばエリア) では、毎年 11 月にユニセフをテーマにした※コープ会を開催しています。

新松戸店では、11月1日に開催され、9人が参加しました。ユニセフの基礎リーフレットを使い、ユニセフの活動や支援を受けているアフリカの子どもたちの状況などについて学びました。ワークショップでは、タイ語で書かれた求人票を例題に「文字の読み・書きができない」ことによる弊害を体験しました。参加者からは、「教育を受ける大切さを改めて感じた」など多くの感想が寄せられました。



コープ会で、ユニセフについて学びました！

コープ会での学習を踏まえ、11月から12月にかけて「第35回ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金」に取り組んでいます。

東深井店では、11月17日に行いました。小学生の子どもたちを含む 10 人が参加し、店頭で世界の子子どもたちへの支援を呼びかけました。多くの方にご協力いただき、約 2 時間で、募金額は 17,215 円になりました。店内では、ユニセフグッズの頒布も行い、15,640 円が集まりました。



募金の呼びかけをしました！

※コープ会は、組合員が集まって、毎月 1 回くらしの話題やコープの商品を試食しながら、楽しくおしゃべりする場です。

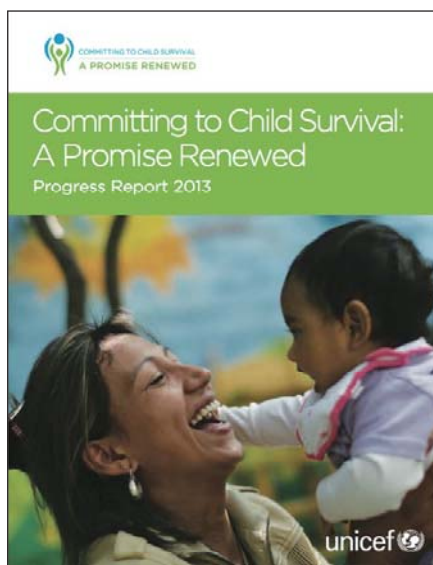


☆ 5歳未満児死亡数が年間 660 万人 ☆

4.8 秒にひとりの死亡に☆

報告書「子どもの生存を守る：2013 年度版」発表

http://www.unicef.org/media/files/UNICEF_2013_A_Promise_Renewed_Second_Progress_Report_Full_Report.pdf



『2013 年度版
子どもの生存を守る：あの約束を再び』表紙

2013 年 9 月 13 日、ユニセフは世界の 5 歳未満児死亡数の最新の推定値を発表しました。その中で、2012 年の 1 年間に死亡した 5 歳未満児は、約 660 万人で、いまなお、毎日 18,000 人、約 4.8 秒にひとりの幼い命が失われていると報告されています。

1990 年には年間 1,260 万人だった死亡数は、22 年経って、おおよそ半減しましたが、2015 年までに 3 分の 2 減少させるという※国連ミレニアム開発目標④の達成は困難であると指摘されています。

今こそ、この 22 年間の成果をふまえ、貧困の削減、妊産婦死亡率の減少、教育の普及促進、男女間の平等、環境持続可能性の促進など多方面の取り組みが必要です。さまざまな取り組みによって、目標の達成も可能になるのではないのでしょうか。

※ミレニアム開発目標
http://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_mill.html

総額
21 億 6,536 万 9,408 円

ありがとう
ございました!

< ハイチ地震復興支援募金の受付終了のお知らせ >

ハイチ地震復興支援募金が 2013 年 9 月 1 日で受付を終了しました。

みなさまからのご協力によって、これまでにユニセフ・ハイチ事務所へ送金できた額は 2,447 万 5,223 ドル（21 億 6,536 万 9,408 円）にのびりました。

2010 年 1 月に起きた震災はその後、コレラの流行やハリケーンの影響も受けるなど複合的な緊急事態でした。しかし、ユニセフが取り組んできたおよそ 3 年間の継続的な支援活動で、ハイチの子どもたちの教育、栄養、保健、衛生の各分野は、大きく進展しました。

生協が取り組んだハイチ緊急募金もすでに終了していますが、あらためて、組合員のみなさまのご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

「第35回 ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金」

ハンド・イン・ハンド募金とは

2013年テーマ：「栄養不良」



©UNICEF/NYHQ2012-0176/Asselin

1979年の国際児童年に誕生した、文字通り“手に手をとって”一人ひとりがボランティアとして参加する、ユニセフ募金活動。事前に登録をすれば、誰もがユニセフボランティアとして参加できます。（今年の参加申し込みは2013年12月6日をもって締め切られました。）

ボランティア一人ひとりの想いを世界の子どもたちへ届けてきたこの募金活動も、今年で35回目。毎年11月から12月をハンド・イン・ハンド募金月間とし、これまでに述べ**60万人**以上の**ボランティア**の方々に学校・職場・家庭・街頭でこの活動に参加していただき、昨年は全国で**1,269**の団体・個人から**5,046万5,429円**の募金が寄せられました。

今年も、ユニセフ活動に賛同された多くの方々にハンド・イン・ハンドに参加していただき感謝しています。

生協店舗や街頭で募金箱を見かけたらご協力ください。

栄養不良で苦しむ 小さな命を守ろう

世界では、年間310万人の子どもが貧困による栄養不良で命を落とし、また、1億6,500万人もが、乳幼児期の栄養が足りず健全な成長を阻まれているそうです。栄養不良の弊害は命の危機ばかりか知能や発達の遅れにも及び、その後の子どもたちの人生を脅かし続けます。

ユニセフは今、子どもが母親のおなかの中にいる時から2歳になるまでの**出生前後 1,000日**に確実に支援を届ける取り組みに力を入れています。乳幼児期のなかでも身体や脳の基礎がつくられるこの大切な1,000日に、母子に必要な栄養やケアが行き届けば、その後の子どもの一生を支える大きな力になるのです。

1,000日間にできること

(支援の一部)

出生前	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
母親への栄養補給	生まれてすぐの授乳	ビタミンAの投与	保健・衛生指導			
母親への予防接種		栄養のある離乳食	栄養補助食の提供	安全な水やトイレの提供		
安全な出産環境		母親への栄養教室	マラリア予防用の蚊帳の配布			
		子どもへの予防接種				



第35回 ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金 グランドフィナーレのご案内

いっせい活動日の12月23日（祝）に、有楽町駅前広場で、各界の著名人の方々と、子どもたち、ボランティアのみなさんが街頭に立ち、ユニセフ募金を呼びかけます。

キッズダンサーによるダンスパフォーマンスなどのプレイベントも、予定しています。

お近くにおいでの際は、ぜひお立ち寄りください。

■日時：2013年12月23日（月・祝）

第一部 11:00～13:00

第二部 13:00～15:00

■会場：有楽町駅前広場

（ＪＲ有楽町駅中央口を出てすぐ前）

※詳しくはこちらから

<http://www.unicef.or.jp/hand/>

CO・OPコアノン スマイルスクールプロジェクトの取り組みについて



プロジェクト第4期が、2013年11月1日にスタートしました！

「CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト」では、CO・OPコアノンロール（トイレットペーパー）1パックにつき1円を募金として積み立て、ユニセフによるアンゴラ共和国の“子どもにやさしい学校づくり”を支援しています。2010年にスタートしたこのプロジェクトは、2013年11月1日から、第4期が始まりました。今期も引き続き、温かいご支援をよろしくをお願いします。《期間：2013年11月1日～2014年10月31日》



第3期の募金額をご報告します！

プロジェクト第3期が、2013年10月31日で終了しました。

皆様のご支援で集まった最終的な募金額は、

1,071万6,658円（約10万7千米ドル※）となりました。

また、第1期から第3期（2010年11月1日～2013年10月31日）の募金合計額は、

2,945万3,256円となりました。

この募金は、すべて日本ユニセフ協会に送金され、アンゴラの子どもたちの教育環境改善のために活用されます。

ご協力に、心より感謝いたします。ありがとうございました。

※1ドル＝100円で計算

プロジェクトの詳細は、日本生協連ユニセフサイトをご覧ください。

<http://jccu.coop/unicef/smileschool/index.html>

ぽむ・ぽむ広場

編集後記

- ◆ ハンド・イン・ハンドやユニセフグッズの頒布会など、私の住む県内でもイベントが続いています。先日、初めて「ユニセフ支援ギフト」を電話で申し込んでみました。ユニセフが協力者に代わって開発途上国の子どもたちに支援物資をプレゼントするという支援方法で、ワクチンや蚊帳、教育キット、プランピー・ナッツなど 15 の支援物資の中から今回は経口補水塩 (ORS) を 1 セット選びました。500 包分もあり 4,500 円でした。まもなく「お年玉募金」も始まります。
- ◆ ひとつの募金 (ハイチ地震復興支援募金) の受付が終了したお知らせを書き終えたとき、「ハイエン (ウミツバメ)」という名の台風がフィリピン中部の島々を襲いました。すぐに日本ユニセフ協会の「臨時拠出積立金」から 1 億円が拠出されたことを知り、自然災害や紛争など多発する緊急事態のニーズに、柔軟に対応できるこの積立金の存在をもっと多くの人に知ってほしいと思いました。(H)

ユニセフ＊コープネットワーク

ぽむ・ぽむ通信

No. 62 2013 年 12 月 16 日発行

編集 **グループ ぽむ・ぽむ**

スタッフ・編集／小池・武田・立川・土橋・浜崎・
松本・山本・石尾・中村・阿久根
イラスト／蛸沢

発行 日本生協連 組合員活動部

〒150-8913

東京都渋谷区渋谷 3-29-8 コーププラザ 11F

TEL03-5778-8124 FAX03-5778-8125

ホームページ <http://jccu.coop/unicef/>

○次号は、2014 年 3 月 17 日に発行予定です。

ぽむ・ぽむ通信・ひとことカード

今回の「ぽむ・ぽむ通信」はいかがでしたか？ ご感想やご意見・ご要望をお寄せください。次号以降の参考にさせていただきます。

生協名：_____

氏名 (ペンネーム可)：_____ 《 組合員・役職員・その他 》

ご協力、ありがとうございました！

右記の宛先までお送りください。 宛先：日本生協連 組合員活動部 F A X： 03-5778-8125

MAIL： kumikatsu@jccu.coop